

講演会 & ライブ な日々 ③④

古川 秀明

『講演会 & ライブ in 城陽市働く女性の家』

2023年の幕開け講演会 & ライブです。

城陽市は私が30代～40代まで、スクールカウンセラーとして長く勤めました。

まさにホームグラウンドです。

講演会前に城陽市のランドマークともいえるアルプラザで腹ごしらえ。



なんだか未来都市にみたいになりました。

私が勤めていた頃は、もっと田舎のスーパーマーケット的な匂いがしていて馴染めました。

当時はなんと、小さいけれど映画館もありました。

映画館の横にはゲームセンター。

非行少年たちのたまり場でしたね。

行きつけの喫茶店があり、そこでナポリタンとコーヒーを飲むのが楽しみでした。

今はその店もなく、大手チェーン店が入っています。
しかし、時代に能動的に適応するのが私の信条。

新しいアルプラザにはとても美味しいきなこ団子屋があります。

また一時期は私の主食に近かった天一のラーメンの店も入っています。

だけどこのアルプラザにはいろんな思い出があるなあ・・・。

いやいや、思い出を語るにはまだ早い。

今日の演題は「無敵のオカンとカウンセラーな僕」

この演題は以前に私の講演を聞いてくれた主催者の方が考えてくれました。

是非この話をして欲しいとリクエストを頂いたのです。

実はこの話、随分前にも城陽市で話しています。

この日は、その時にこの話を聞いてくれた方も大勢来てくれました。

その時に小学生や中学生だった人が、この日は子どもを連れて来てくれました。

その時に母親だった人たちは立派な祖父母として、その時に祖父母だった人は祖祖父母として来てくれました。

長く学校で仕事をしていると、こういう時代を迎えるのですね。

会場はほぼ満席。

話は絶好調。

もちろん今日初めてこの話を聞く人も大勢います。

講演後、みなさんからの感想をもらい驚きました。

昔、この話をした時とほぼ同じ感想です。
時代や世相に合わせて講演内容も変えます。

しかし、この話はまったく変えていません。

そして感想も変わっていません。

時代が変わっても、子育ての本質は変わらないのだなと思いました。

世の中には変えていいものと、変えない方がいいものがあるようです。



どんどん変えた方が良く、変えてはいけないことをよく見極めながら、これからも細く長く続く話と歌を紡いでいきたいと思えます。

シンガーソングライター
ふるかわひであき